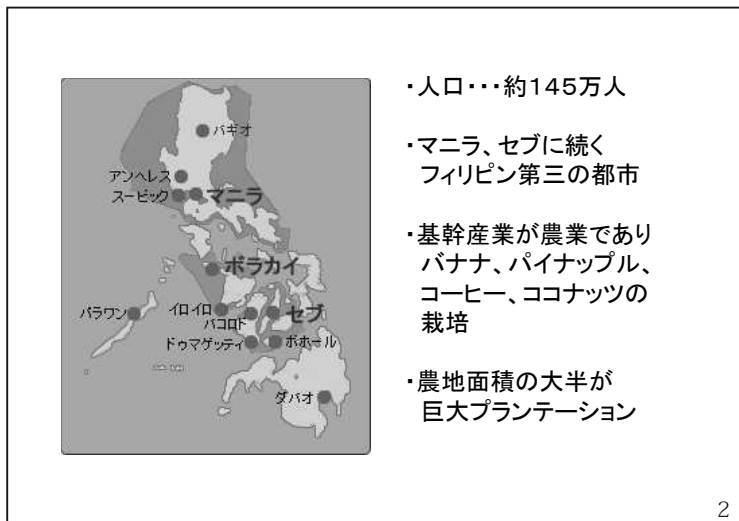


# フィリピンスタディーツアー報告



1日目	・終日 空路、成田よりマニラ経由でダバオへ 着後、専用車でカーサマリア(宿泊施設)へ
2日目	・午前 MKO(ミンダナオ国際大学)、JPVA見学 ・午後 トゥボック施設見学
3日目	・午前 八木村酒園見学 ・午後 有徳園園見学
4日目	・午前 コスギアン見学・敬老出し ・午後 あやこ園見学
5日目	終日 サマール島訪問
6日目	終日 JPVAの職員・MKOの学生とともに植林
7日目	・午前 盲学校見学 ・午後 Hoi(ハウスオブジョイ)へ、交流会・歓迎会を開催してもらう
8日目	・午前 バイバイト/ト村で村の見学、併せてユニークケリング ・午後 真い山と牧場出し(から揚げ、野菜炒め)
9日目	・午前 子どもたちとウラワビーチへ ・午後 Hoiからカーサマリアへ
10日目	・午前 MKO卒業式、参列 ・午後 市内観光、食事会
11日目	・終日 空路、成田へ

3



トゥボック老人ホーム

4

## ダバオ市郊外にあるNGO運営の有料老人ホーム



5

利用者は57名、年齢は54～100歳まで



6

フィリピン、アメリカ、中国、日本の国籍の方が生活している



7

アクティビティルームでは男女に分かれて過ごしていた



8

敷地内にはメイン棟以外に小屋(個室)が設けられていた



9

利用者は穏やかに生活していらしかった



10

パンとミロをトウボックへ寄付!!



11

コスギアン老人ホーム



12

ダバオの市場へ 炊き出し準備



13

ダバオ市が運営する今年で創立29周年の老人ホーム



14

家庭環境の事情により入居する利用者



15

家庭環境の事情により入居する利用者



16

学生による歌の発表



17

炊き出しの実施!!



18



19

☆概要☆

設立 : 1981年  
 ドイツの宗教団体によって設立  
 生徒数 : 60人(6歳~20歳)  
 職員数 : 18人(スタッフ)8人(教師)



20

☆教育方針/内容☆

方針 : 卒業後の自立を目指した教育

内容 : 体育 ☐ 柔道や卓球

マッサーシ ☐ 日本に勉強に来た生徒も!

音楽 ☐ バンド活動 吹奏楽



将来の夢はバンドマン...??



21



22

### ☆学習内容☆

- 基本的には点字を使った学習
- 中には弱視の子もいる
- その子達は大きい文字のテキストを使用



23

### ☆生活☆

- 全寮制：一部屋に1人のスタッフ
- 1部屋あたり8人の生徒



- 食事：朝晩は自炊 昼は給食



25



24

### ☆今後の課題☆

- 予算不足
- 支援金不足
- 公立にする為に市に売ろうという計画  
(現在は 私設)
- このままでは5年後にはなくなる懸念も…
- 支援金を増やすための工夫



26



日本社会事業大学も名前をいれてもらいました

## HOUSE OF JOY



## ハウスオブジョイとは...

- 1997年に烏山夫妻が始めた児童養護施設（孤児院）
- 0～18歳までの親のいない子どもや、いても様々な事情から一緒に暮らせない子どもたちを引き取り、共同生活をしている
- 現在37名の子どもが暮らしている
- 澤村氏始め、日本人が経営している

## ハウスオブジョイの取り組み

- 学校教育を保証する（奨学金制度）
- 掃除、水汲み、洗濯、料理、薪割りなど家事全般は自分たちで行う共同生活
- 生まれた家庭に恵まらなかった子どもたちに、いつか素敵な家庭を持ってもらえるように

### HOJのモットー

見える行動で見えない愛を表現したい



## HOJでの生活

- 男女で棟が分かれている
- 早朝(5時頃)から掃除、洗濯
- 学校が休みの子は敷地内で家事をしたり遊んだりしている
- 竹製の楽器やタイヤでできた椅子など手作りのものがたくさんある

31

## 調理場の様子



炊事は  
ヤシの木の薪、  
プロパンガスで行う



32

私たちが3日間をどのよ  
うに過ごしたのか、澤村さ  
んが編集してくださった動  
画でご覧下さい！

33

ハウス オブ ジョイ  
3日間の記録  
2014.3.23~3.25

34



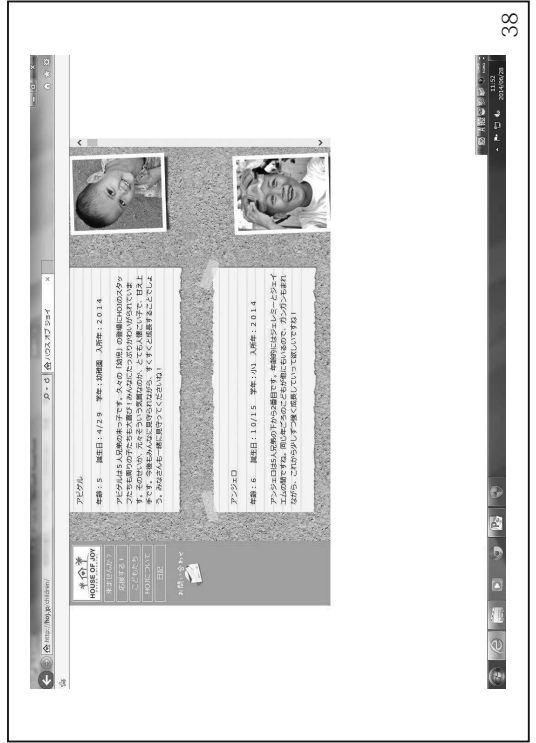
35



36



37



38



# まとめ

～11日間のスタディツアーを通して～



**豊かさとは何か？**

**日本は豊かな国であるのか？  
フィリピンは貧しい国であるのか？**



**ご清聴ありがとうございました！**